

日语

常用惯用句分类

学习辞典

(有声)



◎ 主编 赵平



上海外语教育出版社

外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS

www.sflep.com

日语常用惯用句

分类学习辞典

(有声)

◎ 主编 赵平

 上海外语教育出版社
外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS

图书在版编目 (CIP) 数据

日语常用惯用句分类学习辞典 (有声) / 赵平主编.

—上海: 上海外语教育出版社, 2016

ISBN 978-7-5446-4076-3

I. ①日… II. ①赵… III. ①日语—句型—词典 IV. ①H364.3-61

中国版本图书馆CIP数据核字 (2015) 第213241号

出版发行: **上海外语教育出版社**

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机)

电子邮箱: bookinfo@sflep.com.cn

网 址: <http://www.sflep.com.cn> <http://www.sflep.com>

责任编辑: 应 允

印 刷: 上海叶大印务发展有限公司
开 本: 850×1168 1/32 印张 25.625 字数 838千字
版 次: 2016年1月第1版 2016年5月第2次印刷
印 数: 1100册

书 号: ISBN 978-7-5446-4076-3 / H · 1496

定 价: 70.00 元

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换

中文部分

编 著	赵 平	黄 周	张利平	沈书娟			
副 主 编	熊玉娟	颜 欢	李 洁	崔 忠	张 勇		
译 者	李 玲	张兮瑶	王洁琳	赵康英	李爱华	刘 波	
	赵含嫣	赵翛羽	张鹤林	赵 兴	钱 飞		
校 对	赵 平	张麓营	沈书娟	熊玉娟	黄 周		
录音编辑	赵 妮	赵 平	缪春燕	赵含嫣	赵翛羽		

日本語部分

監 修 趙 平 伊藤茂 小林栄三
執筆校閲 趙 平 伊藤茂 小林栄三 近勝彦 李 玲 阿部治平
浦田千晶 新井菜摘子 中山文 橘雄三 王世鐘 平林京子
田村恭平 小林やす子 荒田一郎 福岡昌子 高橋直甫
大室光子 浜口一広 森園良樹 惟康洋一 織本夏子
米崎隆也 米崎昌宏 山口颯子
校正ほか 趙 平 小林栄三 伊藤茂 張麓宮 張利平

吹き込み

関 直 人 (劇団 NLT 俳優)
桑原一明 (劇団 NLT 俳優)
由川信幸 (劇団 NLT 俳優)
山崎末花 (劇団 NLT 俳優)
永井美羽 (劇団 NLT 俳優)
大槻千草 (劇団 NLT 俳優)
早稲田真樹 (劇団 NLT 俳優)
渡辺直子 (劇団 NLT 俳優)
凧ともこ (劇団 NLT 俳優)
三井千寿 (劇団 NLT 俳優)
古賀勝行 (俳優・声優)
森畑結美子 (俳優・声優)
堂崎茂男 (俳優・声優)
浦田千晶 (日本株式会社・都市と生活社)

前 言

二十年前，我应邀为日本一家杂志社撰写随笔。有一天，杂志主编拿着被他圈点过的稿纸“夸奖”我道：“先生超厉害呀，居然使用了许多我们日本人都明白的表达方式！”接着又补充一句：“你还是把它们都换成普通日本人常用的说法吧。”

主编用红笔勾出来的“日本人都弄不懂的表达方式”，不外乎「牛は嘶き馬は吼え」、「暗がりに鬼を繋ぐ」、「狐死して丘に頭す」之类的惯用句（这里特指包括谚语、熟语等在内的、约定俗成的惯用表达）。这类惯用句在各类辞典上理直气壮地占据着一席之地。自从我涉足日语之后，它们就成为我费尽心思熟记于心，并不时在会话、作文时用以炫耀自己日语水平的“闪光点”。

当时的我年轻气盛，觉得一流辞典上都赫然在列的惯用句，理所当然为具有一定文化素养的日本普罗大众们所知晓。于是，我便将这些自认为闪光点的日语惯用句，拿去请教专家学者乃至邻里街坊，得到的结论却意外之极，令人万分沮丧。多年来呕心沥血所背下的惯用句，竟有相当部分为当代日语中无人知晓的“冢中枯骨”！交流，是语言最重要的功能。如果我使用的惯用句实现不了表情达意的目的，那它们的这个功能就会与虫鸣鸟语、封尘古旧相去无几。固然，达不到交流目的的惯用句可作为研究对象被钩玄钩义，但对绝大多数日语学习者来说，花大量的宝贵时间反复背诵那些让听者不知所云的、业已死去的古旧句式，岂止事倍功半，简直就是在做无用功！

子曰：“夫仁者，己欲立而立人，己欲达而达人。”有此“大彻大悟”，我便萌发出一个强烈的愿望：己所欲，施于人，开辟一座别出心裁的惯用句辞典“花园”，锄去丧失了生命力的“枯草”，培育如今依然活跃在口头或书面的惯用句“鲜花”，让有意提高自己听、说、读、写、译水平的日语学习者不再重复我所走过的漫长而痛苦的弯路！

言必行，行必果，我即以『広辞苑』、『三省堂スーパー大辞林』、『新明解国語辞典』、『明鏡国語辞典』等辞书以及国内出版的各类惯用句辞典为蓝

本,开始收集整理惯用句,并将惯用句做成问卷,陆续发给日本各阶层人士,请求他们帮助对其中的惯用句进行分类。我当时除了在大学执教,也教夜校,同时作为明石市政府协助日本归国子女语言教育的特派教师,定期在不同的初中、高中进行教学。在此期间,我利用自己的特殊身份之便,向日本初中生、高中生、大学生、大学教师、工薪阶层等发放了大量问卷。经过多年的问卷发放、回收、分类和整理,再依托其他文本(如出版物、论文论著)、录音(电视电影、实际发生的语言行为等资料)的统计分析,形成了可靠的基本数据库。

数据库中的惯用句分类标准如下:

- ◎ 表示该惯用句既用于口头,也用于书面。
- 表示该惯用句多用于书面。
- △ 表示该惯用句仅用于书面。
- ☆ 表示该惯用句为基本不用,或已经不用的“死语”。

当然,在问卷调查中,以上分类的结果因人而异。譬如张三打◎的,李四很可能打○或△甚至☆。所以最终结果只能取概数。即:70%以上的人打◎的,即将其分入◎类。同理,70%以上的人打☆的,便将其分入☆类。

资料备齐后,我才开始着手编写辞典,定名为《日语常用惯用句分类学习辞典(有声)》。顾名思义,它必须是名副其实的“常用”惯用句辞典,而且,有分类、有配音,不仅可供查阅,还可供练习。

这部辞典的编写旨在造福于广大日语学习者,其特点为:

1. 新颖:这部辞典的内容和编写形式在国内外都不曾被尝试过,具有较高的原创性。

2. 精练:所有的词条都经过分类,给出准确简洁的汉语译文和日语定义。词条定义不因循守旧,全部采用当代日本社会的最新概念。此外,凡是大多数人认为已经不用、归入☆类的词条,本辞典不再收入。

3. 实用:◎类和○类的词条均给出尽可能接近当代日语口语的例句,例句亦不因循守旧,均从我们最新的口语数据库中精挑细选,以保证达到“鲜活实用”这一目标。◎类词条和例句配以录音,聘请日本专业演员录制。这种别出心裁的设计赋予辞典多重实用功能,既可作为查阅惯用句的工具书,又可作为训练听力、口语,全面提高听、说、读、写综合能力的教科书。

编纂一部创新、严整、精炼且兼具多重功效的辞典，资料积累和创作的难度及强度都被无限放大。从基础数据的收集到全新辞典的编写，其工作的浩繁沉重远远超出了我当初的预想。幸而长达十数年的坚持不懈最终感动了一批日本友人。他们纷纷自告奋勇地加入了撰写和录音队伍。他们中间既有大学校长(伊藤茂)，也有百科全书编辑(小林荣三)；既有作家(阿部治平)，也有教授学者(近胜彦、中山文)和普通教师，甚至有公司老总、职员、退休工人、农民，也有资深的或新入道的专业演员。他们在时间和智慧上无私投入，如沙金粒粒，沉淀在这部辞典中，最大限度地提升了辞典的丰厚度。

大约在6年前，这部辞典的日语部分基本定型。最后敲定的惯用句为6,468条，例句5,926条(其中，录制供听说练习的例句多达4,316条)。接下来，我邀请了一批中青年日语教师参与对例句的翻译。为了保证翻译的准确性，我们采用分小组翻译多组轮流修改的方法。在几经易稿的翻译过程中，淮海工学院、贵州财经大学、安徽外国语学院、成都理工大学、上海外国语大学、天津外国语大学、浙江工业大学、淮安大学、江苏大学、扬州大学、安顺学院、江苏农林职业技术学院、中国科学技术大学、盐城工学院、上海新东方、日本神户学院大学、日本大阪市立大学等高校的教师们陆续加盟，组成了一支人数众多的翻译队伍。即便如此，为了确保语言表情达意的严整与准确，整体进度依然缓慢。而在我罔顾岁月流逝，终于完成译文审定的今天，廿载光阴，恍如隔世，取镜相对，两鬓苍然。

常言道：十年磨一剑。这部旨在造福于广大日语学习者的《日语常用惯用句分类学习辞典(有声)》，前前后后经历了二十年岁月的磨砺。尽管它的每个词条、每个定义、每个例句都经历了千锤百炼，堪称中外学者通力合作、殚精竭虑的结晶，但不能说它已将全部常用惯用句兼收并蓄，挂一漏万的情况或也散见。同时，囿于我本人的水平不足，阙失或不尽如人意之处碍难避免，借此窗口，谨乞广大读者、海内外方家和同行不吝赐教。

本项目得到安徽省2014年高校优秀青年人才支持计划赞助。

主编 赵平 于东京丰洲

あ

◎**ああ言えばこう言う** い い 顶牛;顶嘴;强词夺理;唱反调

▶あれこれ理屈を並べて、相手の言うことに従わない様。◇あいつに頼んでも、ああ言えばこう言うで、結局は何もやってくれない。(即使求他,他也是推三阻四的,到头来什么都不做。)

◎**ああだこうだ** (一个劲儿地)找借口

▶理屈を並べ立てること。◇やる気もないのに、ああだこうだと文句ばかり言いやがる。(压根儿没心思做,还一个劲儿地找借口抱怨不已。)

◎**ああでもないこうでもない** 这也不好,那也不好

▶定見を持たず、何でも反対する。迷って決められないニュアンスもある。◇①彼は僕のアイデアにああでもないこうでもない難癖を付けてきた。(他对我的想法一概否定,百般刁难。)
②新しい家の内装を二人でああでもないこうでもないと考えている。(两人对如何装修新房一直这样那样的拿不定主意。)

あいえん きえん
◎**合縁奇縁** 缘分;天作之合

▶人との出会いは不思議な巡り合わせによるということ。◇あの二人は、まさしく合縁奇縁で結ばれたカップルだ。(他们俩可谓天生一对儿,地设一双。)

あいきょう ふ
◎**愛嬌を振りまく** 笑容可掬;百般讨好

▶人と接触する時の表現方法の一つで、相手を褒めたり、喜ばせたりすること。周囲の人みんなに、にこやかに接する様。◇店に入った途端、店員が愛嬌を振りまきながら近づいてきた。(一进店,服务员就笑容可掬地迎了上来。)

あいことば
◎**合言葉にする** 以……为暗号。以……为标语

▶1 仲間同士で相手を確認するために、前もって作った言葉で合図する。2 お互いの主張を明確にするための標語やスローガンにする。◇①今回の突入作戦では山と川を合言葉にする。忘れるな。(把“山”、“河”作为这次进攻的暗号。记住了!)
②我が社は節約・儉約を合言葉にして経費の大幅削減を実現した。(我公司倡导勤俭节约,实现了经费大幅削减。)

あ

- ◎愛想あいそがいい 态度和藹; 会应酬
 ▶ 親切な様。人の扱い方がよい様。◇家の中では無口な父親も、外では愛想がいいらしい。(父親在家少言寡語, 在外却好像挺能应酬。)
- ◎愛想あいそが尽つきる 讨厌; 厌恶; 唾弃
 ▶ こちらの好意が相手に通じないので、呆れ果ててきらいになること。「愛想を尽かす」とも。◇毎日無心されていて、すっかり愛想が尽きましたよ。(每天都来要钱, 烦死了!)
- ◎愛想あいそがない 待人冷淡; 态度简慢
 ▶ 人に接する態度が不親切な様。◇彼女は愛想がない人に見えるけれど、人見知りなだけです。(她看上去冷冰冰的, 其实不过是认生而已。)
- ◎愛想あいそも小想こせも尽つき果はてる 厌恶之极; 讨厌透顶
 ▶ 「愛想が尽きる」の強調。相手の言動などに対して辛抱できなくなる。◇また彼が浮気をしていたのよ。もう愛想も小想も尽き果てたわ。(他又在外面拈花惹草! 我受够了!)
- ◎愛想あいそを言う 参见「お愛想あいそを言う」条。
- ◎愛想あいそを尽つかす 讨厌; 厌恶; 唾弃
 ▶ こちらの好意が相手に通じないので、呆れ果ててきらいになること。「愛想が尽きる」とも。◇仕事もせず遊び呆けていれば、女房に愛想を尽かされるのも当然だ。(成天无所事事, 游手好闲, 当然会招老婆嫌弃。)
- ◎開あいた口くちが塞ふさがらない 目瞪口呆; 瞠目结舌
 ▶ 呆れ果ててものが言えない様。◇あいつの図々しさには、私も開いた口が塞がらない。(他的厚颜无耻让我都目瞪口呆。)
- ◎開あいた口くちには戸とは立たたぬ 人言可畏; 众口难封
 ▶ 噂が一旦広まると、誰も止められないこと。◇噂を取り締まれと言われても、開いた口には戸は立たぬ、だよ。(让人不要传播小道消息, 可众口难封呀!)
- ◎開あいた口くちへ牡丹餅ぼたんもち 福从天降; 天上掉馅饼
 ▶ 思いも掛けず、突然に幸運が訪れること。同義の「棚から牡丹餅」が常用される。◇貰った宝くじが当たったのだから、開いた口へ牡丹餅というものだ。(别人送的彩票中了奖, 这就是所谓天上掉馅饼啊。)

◎ ^{あいだ た}間に立つ 居中调解; 从中撮合

▶ 人と人を取り持ち、問題の解決に当たる。◇田中さんが間に立ってくれたので、スムーズに契約を結ぶことができました。(由于田中先生从中撮合, 合同得以顺利签订。)

◎ ^{あいだ はい}間に入る 从中调停; 斡旋

▶ 人と人の中に入り、お互いの仲を取り持つ。間に立つ。◇二人の喧嘩はそのうち収まるよ。私が間に入るまでもない。(两人吵不了多久就会消停的, 用不着我插进去劝阻。)

◎ ^{あいづち う}相槌を打つ 随声附和; 打帮腔

▶ 相手の話の途中で同意する意味で、簡単な受け答えをする。また、相手に調子を合わせる。◇母親は私の話に相槌を打つばかりで、何も言おうとはしなかった。(对我的话母亲只是附和, 没发表任何意见。)

◎ ^{あいて けんか}相手のない喧嘩はできぬ 一个巴掌拍不响

▶ 喧嘩を売る者がいても、それを買う者がなければ喧嘩は起こらないのだから、喧嘩を売られても相手になるなという ^{いまし}戒め。◇相手のない喧嘩はできないんだ。やつらに絡まれても無視しておけ。(一个巴掌拍不响。就算对方要来找茬, 也别理他们!)

◎ ^{あい むち}愛の鞭 爱的鞭策; 出于爱护而惩罚

▶ 愛しているが故に、厳しく躰けること。◇お父さんが君に厳しいのは、愛の鞭というものなんだよ。(你父亲之所以对你要求严格, 是因为恨铁不成钢呀。)

◎ ^{あいま ぬ}合間を縫う 见缝插针; 忙里偷闲

▶ 時間が空いた時を利用して、事を行う。◇彼は忙しい仕事の合間を縫って、良く映画を見に行く。(他经常忙里偷闲去看电影。)

◎ ^{あ わか はじ}逢うは別れの始め 有聚必有散; 没有不散的筵席

▶ 出会いが別れの始まりであるという人生の無常を言う。◇もう帰国するの? 逢うは別れの始めと分かっているけど、やっぱり寂しいね。(这就要回国了吗? 我知道天下没有不散的筵席, 可还是舍不得啊。)

◎ ^{あうん こきゅう}阿吽の呼吸 一哼一哈; 配合默契; 不言自明

▶ 何を言わなくても、言いたいことがお互いに理解できる関係の例え。◇彼とは長い付き合いだから、大抵のことは阿吽の呼吸で分かります。(跟他相

あ

处多年、遇事大致都能心领神会。)

あおいきといき

- 青息吐息 长吁短叹。一筹莫展;无计可施

▶ため息ばかり出る状態。困窮して、生活が苦しい状態。◇金策の目途が立たず、彼の会社は青息吐息の状態だ。(筹不到款,他的公司陷入一筹莫展的困境。)

あお

- ◎青くなる 面如土色;大惊失色

▶恐怖で、顔面に血の気がなくなるけこと。◇歩いていた子供が危うく撥ねられそうになったのを見て、青くなった。(見走在路上的孩子差点被撞,我吓得魂儿都快没了。)

あおじやしん えが

- 青写真を画く 绘制蓝图;事前规划

▶将来の計画をおおよそ描くこと。◇この委員会には、大学の十年後の青写真を画くことが求められている。(这个委员会被要求制定出大学的十年计划。)

あおすじ た

- ◎青筋を立てる 青筋直暴;面红耳赤;脸红脖子粗

▶怒ったり、驚いたりした時に、興奮して顔面に静脈を浮かせること。ものすごく怒る様。◇少し帰宅が遅くなっただけに、父は青筋を立てて怒った。(不过回家晚了点儿,父亲就气得青筋直暴。)

あおたが

- ◎青田買い 廉价买青苗。提前招新人

▶収穫を見越して収穫前に、その田を先買いすることから、優秀な人材を確保するために、卒業予定者を先買いし採用の約束をすること。◇青田買いをしても優秀な人物が採用できるとは限らない。(就算提前招收应届毕业生,也未必能揽到优秀人才。)

あおな しお

- ◎青菜に塩 无精打采;垂头丧气

▶新鮮な野菜に塩を振り掛ければ萎れてしまうように、元気な人が急に弱ってしまう様。◇彼は教授に厳しく意見されたらしく青菜に塩の様子だった。(他好像受到了教授的严厉批评,一副垂头丧气的样子。)

あお あい い あい あお

- 青は藍より出でて藍より青し 青出于蓝而胜于蓝

▶青色の染料は草の藍から採るが、それは元の藍草よりももっと青い。転じて、弟子が師よりも優れていることの例え。「出藍しゅつらんの誉れ」とも。◇彼の仕事は師匠を越えたね。まさに青は藍より出でて藍より青しだね。(他干得比师傅还好,简直就是青出于蓝而胜于蓝啊!)

あお あい い あい あお あお あい い あい あお しはつ
 ◎青は藍より出でて藍よりも青し 参见「青は藍より出でて藍より青し」『出
 藍の誉れ』条。

あお
 ◎煽りくを食う 遭受强風の冲击。受到影响；遭受损失

▶ 1 強風に吹かれ衝撃を受ける。2 状況の変化に影響され、思わぬ損害を受ける。◇①漁船は強風の煽りくを食って瞬間に沈没してしまった。(漁船遭受强风袭击, 顷刻间沉没了。)②取引会社が倒産した煽りくを食って、私の会社も危なくなっている。(受客户公司倒闭的影响, 我的公司也岌岌可危。)

あか
 ◎赤くなる 羞愧难当；面红耳赤

▶ 恥ずかしさ・当惑・興奮・怒りなどで顔が紅潮する。◇恋人のことを冷やかされて赤くなるんだから、あなたも純情ね。(人家拿恋人的话儿一逗你就脸红, 你还挺纯情的嘛。)

あか ご て ひね
 ◎赤子の手を捻るよう 不费吹灰之力；易如反掌

▶ 物事が、容易に解決・処理できる状態を言う。◇君にすれば、こんな仕事は赤子の手を捻るようなものだろう。(这活儿对你来说还不跟玩儿似的?)

あかし た
 ◎証たを立てる 证明清白。见证

▶ 潔白である証拠を明らかにする。◇身の証を立てるためには、どんな苦勞でもする覚悟だ。(为了证明自己的清白, 我做好了吃什么苦都不怕的心理准备。)

あかしんごう つ
 ◎赤信号が付く 告急；(事态不妙)出现危机

▶ 危険で、憂慮すべき事態が差し迫っている状態。◇チームが予選リーグで2連敗して、本大会出場に赤信号が付いた。(队伍在小组赛中遭遇两连败, 出线形势不乐观。)

あか ばじ
 ◎赤っ恥ばじをかく 丢人现眼；当众出丑

▶ 皆の前で、恥ずかしい思いをすること。面目丸潰れになること。赤恥は「恥」の強調。「赤恥をかく」とも。◇正式な宴会だと知らずラフな服装で行って、赤っ恥ばじをかけたよ。(不知道是正式宴会, 穿便装去的, 结果当众出了丑!)

あかぬ
 ◎垢抜ける 文雅大方。变得时髦

▶ いろいろな動作・技芸・容姿などが洗練されている。◇①さすがに祇園の舞子は垢抜けているね。(不愧是祇園的艺妓, 举止文雅大方。)②彼女のファッションは目立たないけど、どこか垢抜けている。(她的打扮不引人注目, 却总让人感觉考究。)

◎赤の他人 あか たにん 陌生人; 素昧平生

▶ 全く縁もゆかりもない他人のこと。◇ 勘当だ! いいか、今日からは親子じゃなくて赤の他人だぞ。(从这个家滚出去! 从今往后你我不再是父子, 我们互不相干!)

◎赤恥をかく あかはじ 参见「赤っ恥をかく」条。

◎飽きが来る あき 心生厌膩

▶ 飽きてしまうこと。興味を失うこと。◇ いい絵だと思っただけだけど、毎日見ていると飽きが来るね。(画是好画, 可天天看也会膩的呀。)

◎秋風が立つ あきかぜ 参见「秋風が吹く」条。

◎秋風が吹く あきかぜ (男女間的)感情降温; 变冷漠

▶ お互いの関係が冷たくなる。特に男女の仲のこと。「秋風が立つ」とも。◇ 彼女の心に秋風が吹き始めたのか、最近ではメールも来ない。(大概她的热乎劲儿过了吧, 最近连邮件都不来了。)

◎秋茄子は嫁に食わすな あきなす 秋天茄子味美, 莫让儿媳进嘴; 秋天茄子凉, 别给媳妇尝

▶ 茄子は秋の旬が一番美味しく、この時期の茄子を嫁に食べさせると贅沢に慣れ、節約をしなくなるので 慎むようにということ。また、憎い嫁には美味しい茄子を食べさせるなという意もある。その他にも、茄子は体を冷やすので妊娠期間中には食べさせるなという意味などもある。◇ こんなに美味しいのに、秋茄子は嫁に食わすなどは昔の人も意地が悪い。(这么好吃的茄子, 却说什么秋天茄子凉, 不给媳妇尝。以前的人心眼儿也够坏的。)

◎灰汁が強い あく 个性太强; 偏激

▶ 性格が独特で、きついため、なじみにくい性質。◇ 彼は灰汁が強いキャラだから、友人の中でも好き嫌いが分かれる。(他个性太强, 朋友中喜欢他的不喜欢他的泾渭分明。)

◎灰汁が抜ける あく 随和圆通。典雅不俗

▶ その人の性格や人柄から嫌みやあくどさがなくなり、すっきり洗練された者になること。◇ この頃の彼は灰汁が抜けて、すっかり平凡になったよ。(如今的他没了以往的锐气, 变得稀松平常。)

◎飽くことを知らない あ 不知满足; 贪得无厌

▶物事に満足することがない。◇彼の出世や地位に対する執着は飽くことを知らなかった。(他无休止地追逐功名地位。)

あくさい ひやくねん ふさく
◎悪妻は百年の不作 妻不贤, 终生祸; 娶个坏女人, 一生缠祸灾

▶悪妻と結婚すれば、男は一生不幸である。「悪妻は六十年の不作」とも。
◇あんな女と結婚するつもりなのか? 悪妻は百年の不作と言うぞ。(你还真打算和那种女人结婚哪? 常言道:“妻不贤, 终生祸”哦!)

あくさい ろくじゅうねん ふさく
◎悪妻は六十年の不作 参见「悪妻は百年の不作」条。

あくじせんり い
◎悪事千里を行く 参见「悪事千里を走る」条。

あくじせんり はし
◎悪事千里を走る 好事不出门, 坏事传千里

▶悪事をすれば、いくら隠してもすぐに世間の噂になり知れ渡る。「悪事千里を行く」とも。◇偽装工作をしても無駄ですよ。昔から悪事千里を走ると言いますから。(再怎么掩饰也没用。古人都说过:好事不出门,坏事传千里。)

あくじょ ふかなさけ
◎悪女の深情 丑女情深。盛情难却

▶醜い女は美人よりも情が深い。また、親切過ぎると却ってありがた迷惑になる。◇「恋人と別れたの?」「それが悪女の深情でさ、逃げられなくて困ってる」「和女朋友分手了?」「“还没呢。丑女情深,被黏上了,头疼着呢!”」

あくせんくとう
◎悪戦苦闘 艰苦奋战; 殊死拼搏

▶困難な状況でも何とか努力して、克服するために闘うこと。◇明日までに資料を作らねばならず、兄はエクセルと悪戦苦闘している。(哥哥正在拼命做工作表格,想无论如何在今天之内把材料做出来。)

お
◎アクセントを置く 置重点于; 着眼于

▶全体の中で、一部を強調すること。◇このブラウスは襟元にアクセントを置いてデザインしました。(这件短上衣的设计重点就放在衣领上。)

あくせんみ つ
◎悪銭身に付かず 横财不富; 不义之财难久留

▶悪いことをして稼いだお金は、すぐになくなってしまふ。◇競馬で稼いだ金なんか、悪銭身に付かずで、すぐに消えてなくなるさ。(不义之财难久留, 靠赛马什么的赢来的钱很快就会打水漂的。)

あくたい つ
◎悪態を吐く 恶语伤人; 骂大街

▶悪いことをしているにも拘わらず、居直って、相手に対して、^{たてつ}楯突くこと。
◇息子が「くたばれ! 糞親父!」と悪態を吐きやがるから、本気で殴ってやっ

た。(儿子骂道：“该死的！臭老爸！”我气不打一处来，狠狠揍了他一顿。)

- ◎悪あくに強つよいは善ぜんにも強つよい 为恶甚者，从善亦笃；坏蛋也有三分好
 ▶大悪人だった人が一旦心を入れ替えると、善人以上になる例え。◇あいつは悪人だが、悪に強いは善にも強いと言うから、役に立つかも知れない。(那家伙是个坏蛋，可俗话说：为恶甚者，从善亦笃。没准儿用得上。)
- ◎悪あくの温床おんしょう 罪恶的温床
 ▶犯罪を生みやすい基盤や環境。◇インターネットが悪の温床だなんて、無知な人間の意見だ。(说什么网络是罪恶的温床，这是无知者的看法。)
- ◎欠伸あくびを噛かみ殺ころす 强忍哈欠。厌倦
 ▶欠伸が出そうになっても、我慢して出さないようにする。我慢して辛抱すること。◇生徒たちは来賓の退屈な式辞に欠伸を噛み殺していた。(学生们对来宾的冗长致辞十分厌倦。)
- ◎胡坐あくらをかく 坐享其成
 ▶現状に満足して努力を怠ること。◇老舗という評判に胡坐をかいて努力を怠れば、いつか客は離れていく。(光坐享老字号的声誉不努力，总有一天顾客会不再登门的。)
- ◎揚げ足あしを取る 揭短。存心找茬；吹毛求疵
 ▶人の失敗に乗じて、相手の弱点を非難する。◇彼は他人の言葉尻を捉えて、揚げ足を取ることばかり考えている。(他总想抓住人的话把儿找茬寻不是。)
- ◎挙げ句あぐの果はて 到头来；最终结果
 ▶最後の最後には。とどのつまり。連歌・連句の最後の句から転じた言葉。◇先生のお宅に伺ってご馳走になり、挙げ句の果てに酔いつぶれてしまった。(去老师家拜访，受到款待，结果喝得酩酊大醉。)
- ◎上げ潮あしおに乗る 风头十足。一帆风顺
 ▶物事が盛んになり、勢いが付く時、その勢いに便乗する。◇あの時、僕は上げ潮に乗っていた。だから、仕事があまくいったのだと思う。(我觉得那时的我一帆风顺，工作得心应手。)
- ◎上げたり下げたりあ 忽褒忽贬；又捧又骂
 ▶人を褒めたり、貶けなしたりすること。◇私のことを上げたり下げたりする暇

があるなら、自分のことを考えろ。(有闲功夫对我又捧又骂,还是多想想你自己了事儿吧!)

○^あ開^くけて^{たまて}悔^ぼしき玉手箱 一场空欢喜;大失所望

▶期待していた物が、外れて、がっかりすることの例え。「玉手箱」は昔話「浦島太郎」に登場する箱。◇昨日、お見合いパーティーに行ったのよ。でも、開けて悔しき玉手箱だった。(昨天去参加相亲聚会了!结果空欢喜一场。)

○^あ明^くけても暮^くれても 终日:日日夜夜

▶毎日、朝から夜まで、こつこつと同じことを繰り返すこと。また、同じ事が続くこと。年がら年中。◇あの男は明けても暮れても金儲けのことばかり考えている。(他一天到晚净想着赚钱的事儿。)

○^{あご}顎^おが落ちる 美味绝伦

▶食べてとてもうまいことの例え。「頬っぺたが落ちそう」とも。◇上海蟹の美味しさは感動的だよ。本当に顎が落ちるかと思った。(大闸蟹好吃得让人感动,美味绝伦哪!)

○^{あご}顎^{はず}が外れる 笑掉下巴;笑得合不拢嘴

▶おかしくて、大笑いする。苦しいほど笑う。「腸が振れる」とも。◇彼の滑稽な演技に顎が外れるほど大笑いした。(他的滑稽表演差点没让我笑掉大牙。)

○^{あご}顎^{ひあ}が干上がる 无法糊口;难以生存

▶稼ぎがなくなり、食べて行けなくなる。「口が上がる」「口が干上がる」「鼻の下が干上がる」とも。◇うちのような小さな商売は、雨の日が続くと簡単に顎が干上がってしまう。(像我家这样的小本生意,赶上阴雨连绵就只有喝西北风了。)

○^{あご}顎^{つか}で使う 颐指气使

▶人を使う時に、偉そうな態度で接する。意のままに人を使う。◇昔、俺があいつを顎で使っていたこともあるんだ。(想当年我还使唤过他呢。)

○^{あご}顎^{つか}をしゃくる 颐指气使

▶人に接する時に、何も言わないで顎で、方向を指示する。横着な態度を言う。◇「父さんは?」と尋ねると、弟は黙ったまま二階に向けて顎をしゃくった。(问他:“爸爸呢?”弟弟一声不吭地朝二楼扬了扬下巴。)

○^{あご}顎^だを出す 筋疲力尽;累趴下